

横尾議員 私から２点について質問します。千年サンゴの日の制定、宣言後の取り組みについて、町の考えをお聞きます。先月２月１０日に開催されました日本ユネスコ・プロジェクト未来遺産登録式典において、町は１２月７日を「千年サンゴの日」と制定宣言をしました、式典から一ヶ月ほど経過していますが町ＨＰにこの宣言が新着情報としての記載がありません。また式典事態の記事もなく、県のＨＰ上にリンクを貼るでもなく情報発信がなされていませんでした。しかし、知事が式典に参加するとのことで、関係者の尽力により大勢の皆様にお越しいただきました。ありがたいことです。この式典で、登録証伝達式や「千年サンゴの日」制定宣言、キャラクター「千年サンゴちゃん」お披露目式、牟岐小児童による、保全活動報告、最後に千年珊瑚の歌唱で終了しました。良かったと感想をいただいています。昨年１２月の定例議会で町長は所信に「この保全活動登録を受けて千年サンゴの日の制定に向けた取り組みを進めたい」と表明しています。現在、牟岐・出羽島アート展が開催中です。毎週金曜日を千年サンゴイベントディとしてプログラム展開しています。こうした動きがあるなか、町も１２月７日は「千年サンゴの日」と宣言をしたのですから、今後の取り組みについてお聞かせください。つぎに町製作の封筒物や職員の名刺等の活用を提案したく質問します。これらの印刷物はツールとして活用ができるものであり、町益につながることに有効利用、活用をしていくべきだと思います。例えば、先ほどの１２月７日は「千年サンゴの日」の文言や１２月７日は日本ユネスコ・未来遺産「千年サンゴの日」保全プロジェクト登録日などと印刷した封筒で町内外の発送に使うとかです。ＰＲ効果は期待できると思います。また今年度選定予定の「出羽島の重要伝統的建造物群保存地区」についても考えられますし低予算で済みますので、見解をお聞かせください。

杣富議長 福井町長。

福井町長 横尾議員のご質問にお答えします。千年サンゴの日制定後の取り組みについてですが、確かに議員ご指摘のとおり、「千年サンゴの保全活動」が日本ユネスコの未来遺産に登録されたこと、また「千年サンゴの日」を制定したことは、ニュースとしてＨＰに記載すべきだと思います。早急に対応したいと思います。また、今後の町活性化の千年サンゴの活用、あるいは、千年サンゴの日のイベントの開催等についてですが、昨年来、牟岐町総合戦略計画の策定中でもあり、まだまだ個別具体の活性化策まで手が回っていませんが、今後、個々の地方創生策を推進していく中で、当然、協議を進めていく必要があると考えています。商工会や観光協会でもご活用いただきたいと思います。既に県の観光協会からは、アスティのスペースを使ってＰＲしても良いとか、観光パンフレットに使うとかのご支援を頂いています。今後、できるだけ積極的にＰＲして参りたいと考えています。つぎに、町製作の封筒や職員の名刺に千年サンゴを活用してはどうかとのことですが、詳細は、担当課長からお答えしますが、基本的には、積極的に掲載し、ＰＲすべきであると思います。しかしながら、その手間と経費にかかる費用対効果を考えると、どの程度効果があるかは検証する必要が

あると思います。自治体によれば、民間のPRを封筒で行い、広告料をもらう取り組みを進めているところもありますが、これも町外へ送付して初めて意味があることから、効果は限定的だと思います。ただ、名刺は、基本的に町外の方に渡すものであり、カラー印刷も可能であることから、私も「出羽島」と「千年サンゴ」の写真を入れていますし、他の職員も利用しています。今後、徳島県とも協議し、より広範な利用を考えてまいりたいと思います。

杣富議長 西沢産業課長。

西沢産業課長 横尾議員のご質問にお答えいたします。千年サンゴのプロジェクト未来遺産に関するホームページの記載がない件につきましては、今後、速やかに対応していきたいと思います。また、今後の取り組みにつきましては、町としては、「千年サンゴと生きる町づくり協議会」の環境保善に関する活動をバックアップすることが主になってくると思いますが、未来遺産登録を受けて、人集めのツールとして活用し、来町者を増やすことで、商工観光面での活性化に繋げていくことも必要かと思われます。ただし、ゆるキャラ「千年サンゴちゃん」は牟岐町の公式キャラではないことから、「千年サンゴと生きる町づくり協議会」と協議をしながら、後は、ゆるキャラ「千年サンゴちゃん」を町内外の各種イベントに出演させて、千年サンゴは勿論のこと牟岐町のPRも含め広くPR・客寄せに活用できるように努めてまいりたいと思っています。

杣富議長 仁田総務課長。

仁田総務課長 それでは、町の封筒や職員の名刺の活用につきまして、補足をさせていただきます。町で使用しています封筒ですが、当然のように町税とか国保などの送付用封筒は、それぞれの係りで作成していますが、通常書類送付用の封筒は、本庁分は総務課で印刷をしています。教育委員会は教育委員会で印刷しています。本庁の分につきましては、今現在、「夢と緑と黒潮のまち牟岐」という文字を掲載しています。これは長年牟岐町で使用しています、町のキャッチコピーということで、他の印刷物にも印刷をしています。本庁の封筒は職員が印刷していますので、写真とかそういうふうなのはできません。そういうこともあって、先ほどの文字に限らず牟岐町が表現できるものであればいいかというふうに思いますので、写真等はできませんが、封筒の空いた部分を有効に使おうという意味で今後検討していきたいというふうに思っています。それと、名刺につきましては、町長も言っていましたけど、職員それぞれが作ってまして、写真を載せている職員もあるようです。町の職員が統一して印刷できるようなものがあればいいかというふうに思いますが、どういうものにするかは、これから検討したいと思いますし、町の職員としての基本的なパターンと言いますか、そういうようなものも一つ作ってもいいのかなというふうにも思っています。

杣富議長 横尾議員。

横尾議員 ありがとうございます。いろいろと問題点も町長も分かっておられるようなので、再問はいたしません。あくまで提案という形でさせていただきますが、牟岐町民に12月7日は何の日と問いかければ、「千年サンゴの日」であるというふうな答えが返ってくるような、今、産業課長が答弁で言いました、協議会で横断幕なんかを作っています。また、「千年サンゴの日」の幟なんかもありますが、12月7日、「千年サンゴの日」というような表示をされたものはありません。早急に対応をしていただきたい。また、幟等の製作も考えていただきたいと思っていますし、各種イベントにおいて、観光、交流人口の増加につながるような数字にもなりますので、ぜひ検討していただきたいと思っています。また、産業課長が言いました、「千年サンゴちゃん」の着ぐるみのキャラクターにおいて、フナッシーと同じ扱いになるかなと、町の公認ではないという面では、通常のイベントには出しにくいかと思いますが、各種団体で、例えば、このアート展において、第4週目の金曜日には「千年サンゴちゃん」と一緒に遊べるような企画もあります。それは協議会の方での活動という話になってきますので、できれば民間が製作したものではありますが、各種イベントに容易に各団体にもお声かけしていただいて、町の方から呼びかけもしていただきまして、活用していただきたいと思っています。それと、名刺や封筒については、余白部分を大いに活用していただきたいというふうに思います。また、配布先によって、内容も検討することも必要かと思うので、どうぞよろしくお願いします。